資料3-2

富士川流域における
減災対策協議会の取組成果

～代表事例～

令和6年7月

富士川流域における減災対策協議会

■重点的に実施する取組

令和2年度末に実施した第1期取組の達成度、重要度に関するアンケートにより、継続実施、取組強化・加速化の取組を設定し、新規追加の取組と合わせて、49項目中下記の10項目を第2期の重点的に実施する取組としている。

重点的に実施する取組　＜No.＞

継続実施

- No.20　防災教育の促進
- No.29　関係機関が連携した水防訓練の実施
- No.36　排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施

取組強化・加速化

- No.4　多機関連携型タイムラインの作成
- No.9　住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進
- No.11　広域避難計画の策定
- No.17　洪水予測や河川水位の状況に関する解説
- No.46　応急的な退避場所の確保

新規追加

- No.3　ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- No.21　災害の伝承

■関係機関における重点的に実施する取組　目次

関係機関	取組内容	ページ
韮崎市	避難-No.10：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	p.3
甲斐市	水防-No.33：体制確保	p.4
南アルプス市	避難-No.20：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.5
昭和町	避難-No.22：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.6
中央市	避難-No.17：防災施設の機能に関する情報提供の充実	p.7
市川三郷町	避難-No20：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.8
富士川町	避難-No.22：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.9
山梨市	避難-No.1 ：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等 避難-No.10：災害リスクの現地表示	p.10 ～11
甲府市	避難-No.20：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.12
身延町	避難-No.19：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.13
南部町	避難-No.7：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	p.14
富士宮市	避難-No.20：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.15

関係機関	取組内容	ページ
富士市	避難-No. 9：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等 避難-No.20：住民の主体的避難力を支える仕組み	p.16 ～17
静岡市	避難-No.10：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等 水防-No.31：水防団（消防団）員の確保、水防協力団体の募集・指定の促進	p.18 ～19
JR東日本	水防-No29：点検強化	p.20
山梨県	避難-No.11：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等 避難-No.9 ：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	p.21 ～22
静岡県	避難-5：逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	p.23
甲府地方気象台	避難-15、20：防災・気象情報等の配信方法の充実等、住民の主体的避難力を支える仕組み	p.24
富士川砂防事務所	避難-20：住民の主体的避難力を支える仕組み 避難-25：総合的な土砂管理 水防-29：関係機関が連携した水防訓練の実施	p.25 ～27
甲府河川国道事務所	避難-9：逃げ遅れゼロに向けた実施期間の協働・支援等	p.28

避難-10　◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等

災害リスクの現地表示

韮崎市

目的　　洪水ハザードマップにおける想定浸水深の標識を浸水エリアの電柱や指定避難所に設置し、住民の避難行動に寄与する。

実施時期　令和5年10月12日～6年3月6日

事 業 名　①避難所等想定浸水深標識設置工事
②想定浸水深看板設置業務委託

取組内容

- 避難所標識　8箇所
- 浸水深標識（カーブミラー設置）　30箇所
- 浸水深標識・高さ表示テープ（電柱設置）60箇所

取組による効果、ポイント

- 身近な電柱に浸水深の表示看板と高さを示す赤色テープを設置した。
- エリア内の浸水状況の可視化が図られ、**災害リスクの周知と避難行動を促す効果**が得られた。
- 令和6年度の水害を想定した総合防災訓練において、想定浸水深が3m以上となる地区住民が避難行動をとる訓練を実施予定。住民への周知方法として、ハザードマップのほか、本事業による標識の存在を周知する。

詳細情報：https://www.city.nirasaki.lg.jp/useful/bousaijyohou/6408.html　／問合せ：韮崎市　総務課　TEL：　0551-22-1111

水防-33　◆体制確保

自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進

甲斐市

- 目 的：大規模災害時に避難所の運営、生活をどのようにするのか、事前の備えを考える機会として、自主防災組織役員などを対象とした指定避難所宿泊訓練を実施。
- 実施期間：令和5年8月5日（土）～6日（日）
- 実施内容：
  - 避難所運営委員は地元自治会の役員及び甲斐市地域防災リーダーから選出する。
  - 事前に、役割分担、避難所ルール作り、必要備品などを検討する運営委員会を開催。
  - 訓練当日は地元の住民、事前申込者の一般市民が避難者役として参加。

避難所体験

- 取組による効果、ポイント
  - 避難所運営を通じて、多くの反省点が出された。今後、避難所運営マニュアルや地区防災計画の作成や見直しにつなげていく。
  - 一般参加者は避難所で飲食、寝泊まりをする体験を通し、災害に備えどのようなものが必要なのか考えるきっかけとなった。
  - 熱中症対策や換気方法など、真夏の避難所運営の大変さを知った。

避難所運営委員会

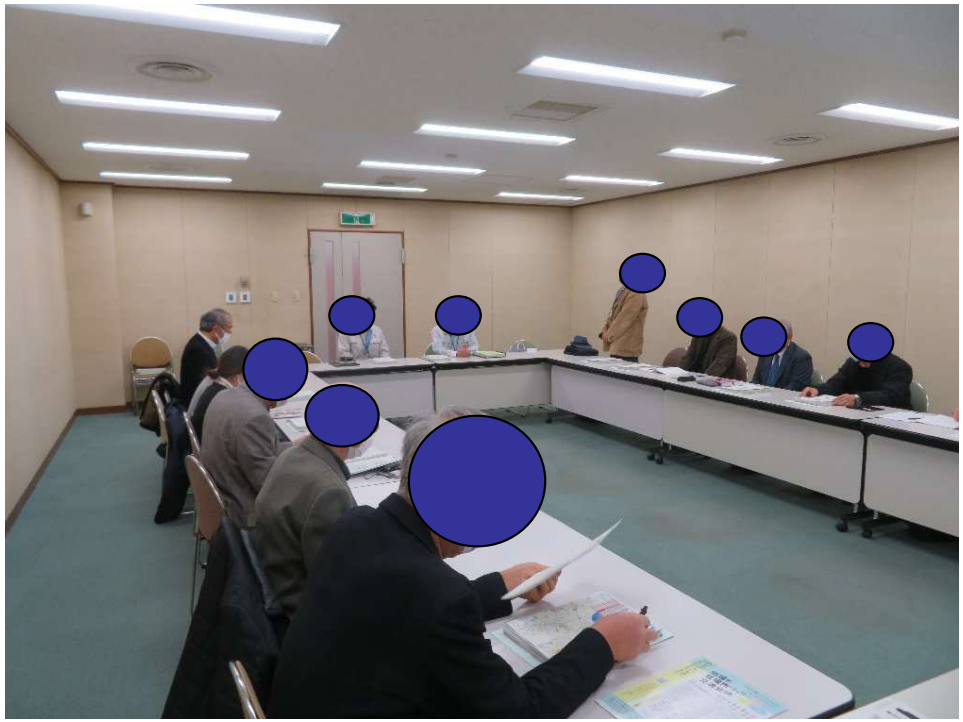
問合せ：甲斐市役所　防災危機管理課　　TEL：055-278-1676

避難-20　◆住民の主体的避難力を支える仕組み

防災教育の促進

南アルプス市

- 目的：防災に関する先進地域での研修
- 実施日：令和6年1月30日
- 実施内容：防災リーダーの立ち位置と役割及び行政との連携について
  実施場所：神奈川県茅ケ崎市役所
  参加人数：15名



- 取組による効果、ポイント
  - 市民と行政が一体となった防災体制を確立するための、取組内容の把握。
  - 自主防災組織内での防災リーダーの役割の確認。
  - 先進地域で研修した内容を、本市にも取り入れることで、防災体制の強化につながる。

問合せ：南アルプス市役所　防災危機管理課　TEL：055-282-6494

共助の仕組みの強化

昭和町

昭和町地域防災リーダー養成講習会

- 目的：防災に関する正しい知識及び技能を習得し、防災活動を含め、自主防災組織の中心的役割を担う人材の育成

- 実施日
  第1回　令和5年6月14日(水)　第2回　令和5年6月21日(水)
  第3回　令和5年6月28日(水)　第4回　令和5年7月　5日(水)
  第5回　令和5年7月12日(水)　第6回　令和5年7月19日(水)

- 実施内容
  第1回：災害時における町の対応と現状、被災地における「自助」「共助」
  第2回：住民の自主防災について事例発表
  第3回：応急手当（止血・固定・搬送・応用）
  第4回：地区防災計画について、手書き防災マップ
  第5回：避難所について
  第6回：避難所運営図上演習

- 実施場所：昭和町役場

- 取組による効果、ポイント
  - 講習会を開催することで、災害時に自主防災組織の中心的役割を担う防災リーダーの育成及び知識・技能の向上を図ることができた。

第2回（6月21日）の様子

第6回（7月19日）の様子

問合せ：昭和町　企画財政課　危機管理係　TEL：055-275-8154

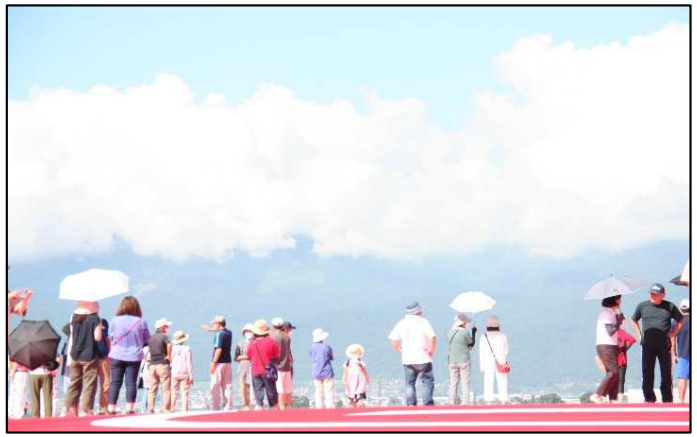
防災施設の機能に関する情報提供の充実

中央市

水害に特化した総合防災訓練の実施

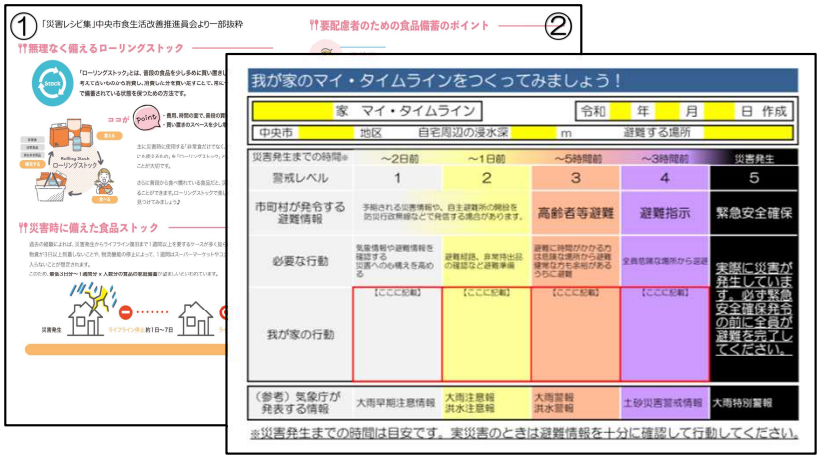
- 目的：中央市総合防災訓練にて、水害についての災害リスクへの対応や平時の備えを周知する
- 実施日：令和5年8月27日（日）
- 実施内容：警戒レベル・マイタイムライン・ローリングストックの周知
- 実施場所：各自主防災会の一時避難地・災害協定締結先企業

- 取組による効果、ポイント
  - 中央市で初めての水害に特化した防災訓練を行った。
  - 市の大部分が浸水想定区域となっている現状に対し、段階に応じた避難行動を示した警戒レベル、円滑な避難行動を支援するマイタイムライン、食料備蓄方法のローリングストックについて職員が説明し市民に周知した。
  - 災害協定締結先企業の施設への避難訓練を実施した。



山梨中央ロジパーク
（中央市成島570-7）屋上の様子

はくばく中央工場
（中央市西花輪4629）訓練の様子



警戒レベル・マイタイムライン・ローリングストックの説明資料

問合せ：中央市　危機管理課　TEL：055-274-8519

防災出前講座の実施

市川三郷町

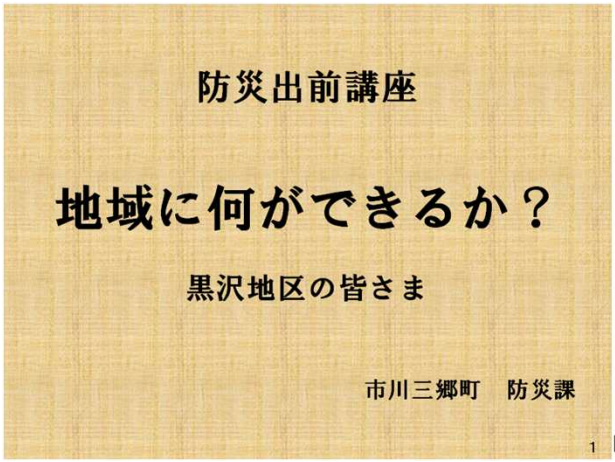
- 目的：学校や地域に出向き、災害に対する心構えや防災減災の具体的取り組みを紹介し防災意識の高揚を目的とする。

- 実施日：令和5年5月～12月（全15回）

- 実施内容：当町で発生した災害や防災に対する心構えなど概ね60分、スライドを用いて防災意識の高揚を図る。

防災出前講座の様子

- 取組による効果、ポイント
  - ・住民一人一人の意識高揚が効果として出ている。
  - ・大雨時の現地写真を投映することで過去の被災状況を確認でき、危機感のある講座となった。
  - ・自主防災会と共同で企画したものもあり、連携強化のきっかけとなった。



講座資料：地区への講座

大同小学校（今の市川南小学校）

昭和57（１９８２）年7月30日～8月2日　台風第10号

講座資料：過去の災害写真

問合せ：市川三郷町　防災課　TEL：055-272-1175

共助の仕組みの強化

富士川町

- **第1回富士川町地域防災リーダー養成講座の開催**
- 目　的　：　地域防災の意識を高め、地域防災の牽引者を育成する。
- 実 施 日：　令和5年11月5日（日）
- 実施内容
  - 気象防災アドバイザーによる気象災害の講義、救急法の講義、防災教材（映像）の視聴
  - 富士川町役場にて18名参加
  - 毎年継続して実施し、各地域に防災リーダーを輩出する

気象防災アドバイザーによる講義の様子

- 取組による効果、ポイント
  - 気象防災アドバイザーによる富士川町に特化した気象災害の特徴を学び、災害に備えるための学びを得ることが出来た。
  - 救急法を取得することで、万が一に備えることが出来た。
  - 防災ビデオ（富士川町+山梨県立大学作成）を視聴し、災害に備える重要度を理解出来た。

消防署による救急救命実習の様子

問合せ：富士川町役場　防災交通課消防防災担当　TEL：0556－22－7218

避難-1　◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等

富士川水系マイ・タイムライン作成支援ツールに係る地域住民による導入検証

山梨市

- 目的：
  富士川流域の水害時における地域住民の避難行動を速やかに進めてもらうため、平常時から住民の避難行動の在り方を確認し、各自に合わせた避難行動計画を作成する。

- 実施期間：令和5年10月～令和6年2月

- 実施内容：
  甲府河川国道事務所が整備を進めているマイ・タイムライン作成支援ツールの開発に係る検証作業を水害のリスクが高い地域住民と検証。ハザードマップや過去の災害履歴を確認し合い、地域における災害特性を共有する中で、マイ・タイムラインの必要性を理解した上で、実際に支援ツールを使用し、各自のマイタイムラインを作成。

- 取組による効果、ポイント

  ・地図を使って、具体的な避難行動を話し合うことにより、避難行動要支援者の対応など、実践的な課題を共有することができた。

  ・作成の意義が浸透していなかったマイ・タイムラインが当該支援ツールによって、短時間で簡単に作成できることが確認され、関心が高まった。

一町田中区における住民懇話会

問合せ：山梨市　防災危機管理課　TEL：0553－22－1111

災害リスクの現地表示

山梨市

浸水想定深表示看板の設置

- 目的：
  水害時に想定される浸水の深度度を住民生活の近い場所（電柱）に設置することで、より身近に災害を意識し、日頃からの防災意識に高揚を図ることにより、避難路の事前確認と速やかな避難行動の実行に繋げる。

- 実施期間：令和5年6月1日～10月31日

- 実施内容：
  国が推進している「まるごろまちごとハザードマップ」の取り組みの一つとして、河川の氾濫などが想定される地域の電柱45箇所に看板を設置。

- 取組による効果、ポイント

  - 設置場所を公共施設や小中学校の近くに設定したことにより、地域の防災訓練における周知や市が配布するハザードマップと連動した避難訓練の実施に繋がっている。
  - 小中学校の防災訓練や学習会において、当看板が示す意味合いなどの議題とし、若年層への防災教育に役立てられている。
  - 深度高さが分かるよう赤いテープを合わせて電柱に設置し、可視化を図っている。

問合せ：山梨市　防災危機管理課　TEL：0553－22－1111

防災教育の促進

甲府市

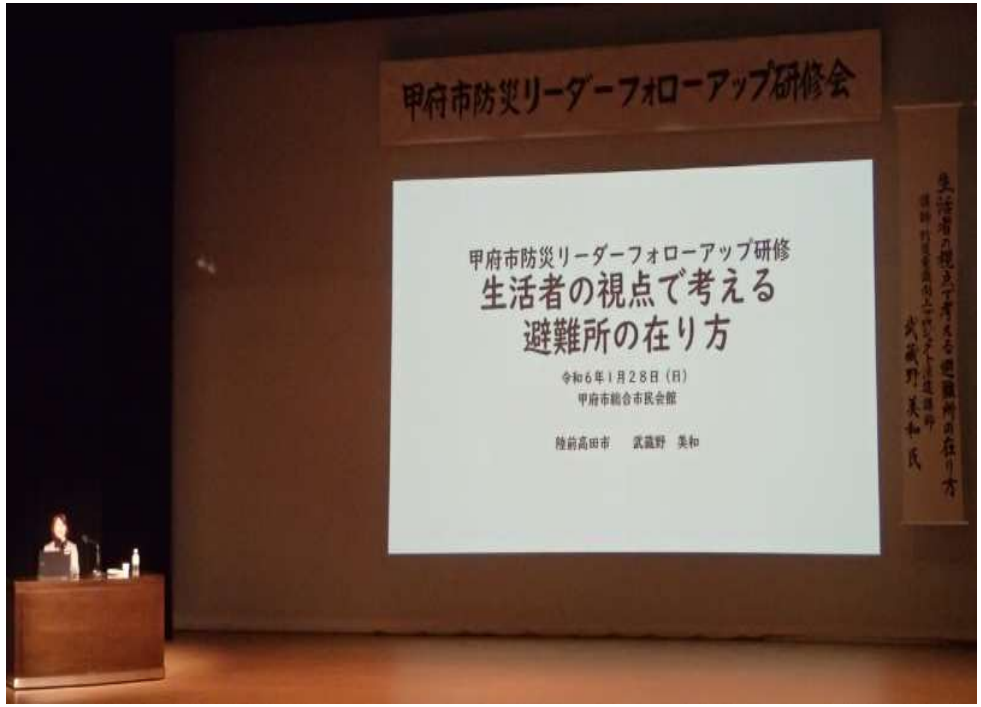
甲府市防災リーダーフォローアップ研修会の実施

●目的：地域防災力向上のため、共助の精神に基づく地域で活躍する防災リーダのフォローアップ研修会を開催し、知識や技能の向上を図る。

●避難所運営訓練　50名参加
令和5年9月10日　東中学校体育館
東地区ブロックの防災リーダーを対象
・避難所受付や区割訓練

●資機材取扱い訓練　47名参加
令和5年10月22日　北東中学校
北ブロックの防災リーダーを対象
・非常用貯水槽取扱い
・組立式トイレ、乳幼児テント組立訓練
・発電機動作訓練
・マンホールトイレ取扱い訓練
・感染症対策室レイアウト作成

●講演会　245名参加
令和6年1月28日　甲府市総合市民会館　芸術ホール
全地区ブロックの防災リーダーを対象
・防災意識向上プロジェクト派遣講師による講演



令和6年1月28日の状況

● 取組による効果、ポイント
- 研修会を開催することで、受講者の災害に対する意識の向上を図ることができた。

問合せ：甲府市　防災企画課　TEL：055-237-5331

緊急行動トップセミナーの開催

身延町

移動避難訓練及び防災セミナー

- 目的：地域でグループ活動（健康体操）している女性団体の要望により防災セミナー開催

- 実施日：令和5年10月18日（水曜日）

- 実施内容：
  ・地域の指定避難所への移動訓練及び備蓄品等の確認をしながら、非常時での行動確認等を学習した。
  ・塩之沢公民館～大河内分館
  ・参加人数　20人

- 取組による効果、ポイント
  ・地域の自主防災会ではなく女性活動団体による研修会のため、避難経路や避難所での問題点など、女性ならではの目線で確認ができた。

- 今後の課題
  ・今回のように意欲的な団体は良いが、自助・共助の意識の低い地域等への啓発活動が課題といえる。

健康体操グループの皆さんと

指定避難所への移動訓練

ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供

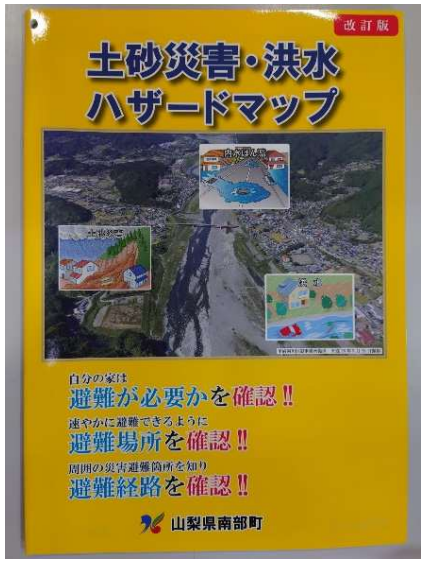
南部町

防災教室の実施

- 目的：自身の住む地区や町の水害リスクを把握することで、防災意識や知識の向上を図り、被害の軽減につなげる。
- 実 施 日 ：令和5年6月21日（水）
- 実施場所：南部町アルファーセンター
- 参加人数：塩沢サロン12人
- 実施内容
  塩沢地区の高齢者に対して、交通防災課職員による防災教室を実施。ハザードマップを用いて、今いる場所の危険性や、どこに避難すれば良いのか等の説明を行った。

- 取組による効果
  - ハザードマップの見方や活用方法を学んだことで、実際に自分の家の状況や避難先を調べる等の姿が見られ、防災意識を高めることができた。

ハザードマップを用いた防災教室の様子



使用したハザードマップ

問合せ：南部町　交通防災課　TEL：0556-66-3417（直通）　0556-66-2111（代表）

富士宮市

富士山まちづくり出前講座の実施

● 市内の小中学校や高齢者等を対象に富士山まちづくり出前講座を開催。
水害や土砂災害のリスクなどについて周知、啓発を行い、防災知識や技能の向上を目指すとともに、防災意識の向上を図る。

●対象者：市内に在住・在勤・在学する10人以上で構成された団体（自治会、学校など）

● 実施回数：　令和5年度　　26回実施

● 取組による効果、ポイント
ハザードマップや防災マップの見方の説明、解説を行うなど、防災に関する出前講座を実施することにより、災害に対する防災意識の向上が図られた。

大中里区

星山2区

問合せ：富士宮市　河川課　TEL：0544－22－1219

住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

富士市

避難行動要支援者の避難体制を充実させる防災アプリの導入

- 目的
  災害時に避難行動要支援者が適切に避難できるよう、個別避難計画の作成を推進するとともに、避難の実効性を高める。
- 実施日
  アプリ運用開始：令和5年11月1日（水）～
- 実施内容
  - 令和3年度から、内閣府のモデル事業として個別避難計画作成の推進を開始。地域の支援者や福祉専門職などの関係者とともに個別避難計画の作成及び避難訓練を実施。
  - 市内全域に取り組みを広げるにあたり、避難行動要支援者の支援体制を充実させるため、「要支援者と支援者のマッチング」機能を持った防災アプリ「防災ふじ」を開発し、配信を開始した。
  - 現在、広く市民へのアプリの周知を行っており、さらなる要支援者の避難体制を整備していく。

- 取組による効果、ポイント
  - アプリを通じて周辺地域へ避難要請を出せるため、要支援者の負担軽減につながる。
  - 自主防災会として要支援者の支援を行うため、支援者1人1人の負担軽減につながる。
  - 本アプリはハザードマップの確認やマイタイムラインの作成等の機能も有しており、一般市民への啓発にも効果がある。

作成した個別避難計画に基づく避難訓練の実施

防災アプリの機能紹介

詳細情報：https://www.city.fuji.shizuoka.jp/safety/c0110/rn2ola000004svzs.html /問合せ：富士市防災危機管理課　TEL：0545-55-2936

防災教育の促進

富士市

災害リスクの周知・啓発を目的とした防災講座等の開催

- 目的
  幅広い所属・世代の住民に災害リスクを周知・啓発し、適切な避難行動を取るための知識を持ってもらう
- 実施日
  １年を通じて（継続的に実施）
- 実施内容
  ・市民や学校の依頼や、市の企画により各地で防災講座を開催し、ハザードマップや日頃の備え等について啓発。
  ・市関係部署や防災関連団体等も出展する防災イベント「ふじBousai2023」を開催。防災知識を学ぶブースや災害に関する講演会等を通じ、多くの市民が様々な視点での防災に触れる機会を設けた。

- 取組による効果、ポイント
  - 講座を開催する**地域の特性に合わせた内容を説明**することで、災害情報をより身近な情報として捉えてもらう。
  - イベントや講座を**継続的に実施**し、より多くの住民が知識を得る場を設けることができている。

地区住民（自主防災会）への啓発

小学校での防災講座

防災イベント「ふじBousai2023」

詳細情報：https://www.city.fuji.shizuoka.jp/safety/c0101/fmervo000001k97k.html　／問合せ：富士市防災危機管理課　TEL：0545-55-2936

災害リスクの現地表示

静岡市

まるごとまちごとハザードマップの推進

- 居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間でである“まちなか”に水防災にかかわる情報を示すことで地域の水害の危険性を実感してもらうことを目的とする
- 静岡市は、津波浸水深や海抜の表記を、静岡県は市内に七夕豪雨の洪水痕跡の表示板を設置している
- NHK静岡放送局との連携により、観光地や地域で目印となる建物の「実感！ハザードマップ」を作成し、することで、身近な建物や、よく利用する場所における浸水リスクを知ってもらうきっかけを作る。

取組による効果、ポイント

- ハザードマップ等の情報に比べ、より身近な写真による情報とすることで、住民が地域のリスクを知るきっかけとなり、災害時における適切な防災行動が期待できる。
- 防災訓練や出前講座等への参加が難しい方や、防災に関心が薄い住民にもアプローチすることができた。
- 英語・中国語を併記や、ピクトグラムの使用により、日本語が分からない住民や観光客などに対しても、幅広く周知できるようにした。

海抜表示板

問合せ：静岡市　危機管理局　危機管理課　TEL：054-221-1012

水防-31　◆水防団（消防団）員の確保、水防協力団体の募集・指定の促進

水防関係者間での連携、協力に関する検討

静岡市

合同点検への参加・水防協議会の開催

- 合同点検
  実施日：令和5年6月26日（月）
  - 重要水防箇所を、静岡河川事務所と静岡市・水防団で巡視点検
- 水防協議会
  実施日：令和6年3月（※書面開催）
  - 静岡市水防計画の修正を、河川管理者や水防団・消防団などの関係機関と協議

取組による効果、ポイント

- 水防箇所の点検によって、出水時に取るべき行動を具体的に確認するととも関係機関との顔の見える関係性の構築を持続させる
- 水防計画の修正によって、出水時に市や水防団・消防団が行動すべき時期や内容を整理するとともに、関係機関の計画との整合を図ることで、連携体制を強化する

問合せ：静岡市　危機管理局　危機管理課　TEL：054-221-1012

水防-No29　◆関係機関が連携した水防訓練の実施

車両への浸水被害防止に向け現車を使用した車両疎開訓練の実施

JR東日本

◆ 目　的：**台風・集中豪雨等により河川氾濫等が発生し車両留置箇所における浸水被害を防止するため、実際の車両を使用し、車両を浸水しない箇所まで移動させる手段や連絡等の確認を行う**

◆ 実施日：令和5年6月1日（木）23:00～6月2日（金）5:00
（実際の車両の移動は、終電～初電の間に実施）

◆ 実施内容：

（1）車両疎開訓練
・支社対策本部にて気象情報、河川事務所等との確認を想定しながら車両疎開の実施判断
・支社対策本部、甲府統括センターで車両疎開に向けた手配や調整の実施
・各種運転規制の確認後、甲府駅電留線から竜王駅及び甲府駅ホームへ車両疎開の実施

（2）車両戻し訓練
・支社対策本部にて気象情報、各種データ確認を実施し車両戻しを判断
・支社対策本部、甲府統括センターで車両戻しに向けた手配と調整の実施
・各種運転規制値の確認後、竜王駅及び甲府駅ホームから甲府駅電留線へ車両戻しの実施

実施場所　　甲府駅電留線　⇒　疎開先：甲府駅、竜王駅
参加人数　　50名
今後の予定　令和6年度実施予定

支社対策本部

疎開車両

◆ 取組みによる効果とポイント

・支社対策本部と現地対策本部間のやり取りを、参加者で共有するため、Teamsを活用した
・甲府駅に設置した車両疎開手順書を用いて、進めることで、有事に活きる訓練となった

問合せ：JR東日本八王子支社鉄道事業部安全企画ユニット　TEL：042-620-8513

広域避難体制の構築

山梨県

- 目的：広域避難に関しての理解を深め、市町村の計画策定に向けた取組を促進させる。

- 実施日・実施場所：
  令和5年12月26日（火）　Web会議形式

- 実施内容：
  広域避難計画を策定する上での課題と対応検討等を実施

- 取組による効果、ポイント
  ・広域避難に関しての協議の場を設置
  ・広域避難計画策定の促進

- 今後の課題

・相模川水系における広域避難の必要性の検証
・広域避難の具体的なオペレーションの検討

取組イメージ

住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

山梨県

- 目的：県政出張講座を実施し、水害・土砂災害のリスクを県民へ周知することで、避難行動に関する啓発活動を行う
- 実施日：令和5年7月19日（水）　10：00～
- 実施内容：
  - ・実施内容：「水害・土砂災害から身を守るために」をテーマにした県政出張講座を実施
  - ・実施場所：甲府市南西公民館
  - ・参加者：甲府市国母地区高齢者学級　43名

- 取組による効果、ポイント
  - 災害リスクを説明することで、避難の重要性を理解してもらうことが出来た

講座資料の例

説明会の様子

問合せ：山梨県治水課　TEL：055-223-1551

洪水対応情報伝達演習の実施

静岡県

- 目的：出水時において、甲府河川国道事務所が発表する富士川の洪水予報及び水防警報を迅速かつ正確に情報伝達が行えるよう、情報伝達経路、伝達手段について確認し、防災体制に万全を期する事を目的とする。（出水期前までに実施）

- 実施日：令和4年6月8日（水）

- 実施内容：発表情報を関係市町、報道機関等へ伝達
  - ・国⇒県本部⇒県出先事務所⇒関係市町
    県本部⇒報道機関、警察等
  - ・参加人数16人（本部6名、出先10名）

- 取組による効果、ポイント
  - 事前に出水時においてやるべきことを確認し、安心して水防業務に臨むことができる。
  - 水防業務の経験が少ない職員を対象に訓練を実施する事で、有事の際に誰でも対応できるように人材を育成する。
  - 訓練結果を踏まえ、より解りやすいマニュアルに改良した。

機器等、操作説明

情報の伝達・仕分け

問合せ：静岡県交通基盤部河川砂防局土木防災課　TEL：054-221-2249

防災･気象情報等の配信方法の充実、防災教育の促進

甲府地方気象台

気象庁防災WSの内容の充実

- 目的：大雨による洪水災害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解し、その重要性を認識する。
- 実施日：令和６年３月１日（金）
- 実施内容
  - ・峡南地域県民センターと甲府地方気象台主催で峡南地域4町（市川三郷町、身延町、早川町、南部町）を対象に気象防災ワークショップ（中小河川洪水編）を実施した。
    通常、全国共通の事例を用いてタイムラインによって、どのような行動をすべきか検討し、発表する形式となっているが、今回は山梨県からの要望により、より実践的に我が事感を持って対応を考えられるよう、実際に発生した事例と、身延町を舞台とした峡南地域編のシナリオを作成してワークショップを実施した。
  - ・実施場所：峡南地域県民センター
    参加人数：６名
  - ・今後の予定：来年度も実施予定

防災行動を検討している参加者

検討結果を説明している参加者

取組による効果、ポイント（参加者の感想より）

- ・対面形式であったことにより、他自治体間との情報共有ができて良かった。
- ・今回は身延町という、知っている地名を使ったことにより、より理解することができた。
- ・他の市町村と同じ課題を抱えているため、とても参考になった。
- ・ワークショップの時間が自体職員向けであるためしかたないところもあるが、少し長いと感じた

詳細情報：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-ws2/index.html／問合せ：甲府地方気象台防災グループ　TEL：055-222-9101

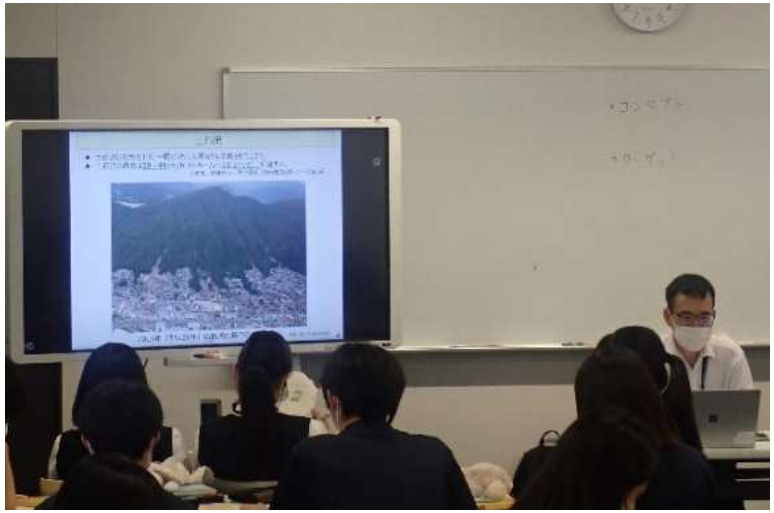
防災教育の促進

国土交通省
（富士川砂防事務所）

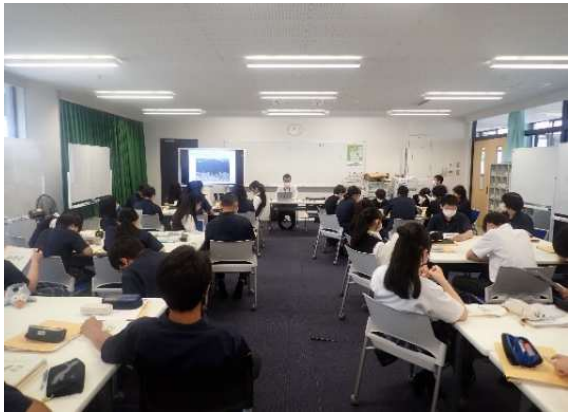
土砂災害及び避難に関する出前講座の実施

- 目　　的：次世代を担う学生に対して土砂災害及び避難について学ぶことで、自ら行動できる人材の育成
- 実　施　日：令和5年6月30日（金）
- 実施場所：山梨県立青洲高等学校（市川三郷町）
- 対　象　者：1年次生徒、38名
- 実施内容：①「土砂災害とは」（導入の講義）
  ②「土砂災害時の避難行動」（学生同士ワークショップ）

- **取組による効果、ポイント**
  ・「避難に対する考え方が理解できた」や「家族にも伝えたい」などの声があり、土砂災害に対する認識や避難方法などを理解してもらう良い機会となった



①土砂災害の種類や特徴に関する講義



班毎による避難行動の議論状況

避難経路を地図に書き込みながら発表

職員による避難方法の解説

②班毎によるワークショップ形式による避難行動の議論

問合せ：富士川砂防事務所　調査課　TEL：055－252－7156

総合的な土砂管理

国土交通省
（富士川砂防事務所）

土砂災害を防止する砂防堰堤の整備

- 目　的
  下流域における人命・資産の保全

- 施設完成日
  令和5年度

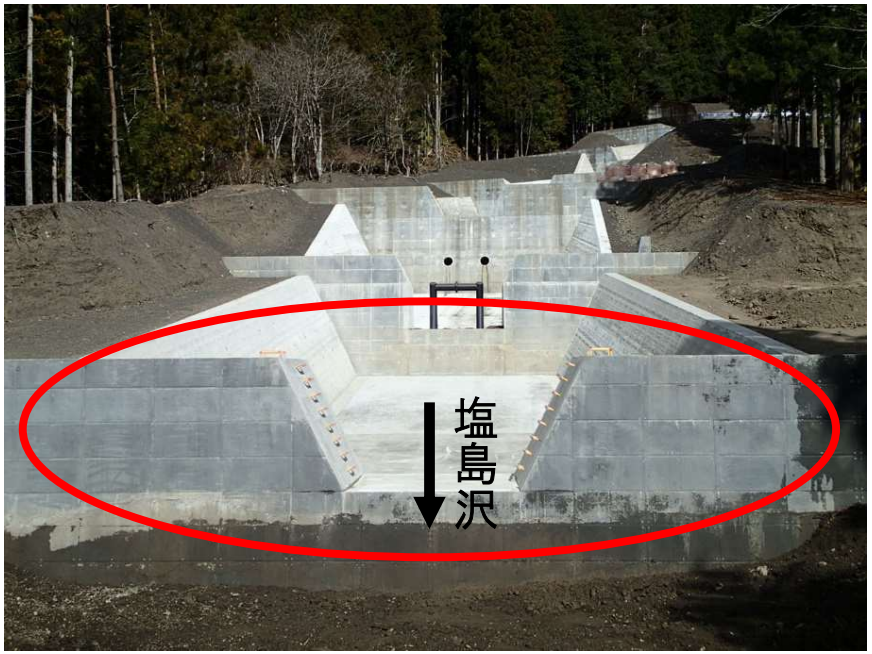
- 主な整備箇所
  ①仲島砂防堰堤（早川町赤沢地先）
  流木止め設置
  ②塩島沢第二砂防堰堤（早川町大原野地先）
  砂防堰堤

- 整備及び効果内容
  渓床に堆積した多量の不安定堆積物により土砂災害発生の危険性が高いため、砂防堰堤等を整備することで人家及び公共施設等を流木や土砂災害から保全。

- 取組による効果、ポイント
  ・大雨時に土石流が発生した際に、流木や土砂を捕捉することにより、人命・資産を守る

← ①仲島砂防堰堤改築
（流木止め設置）

↓ ②塩島沢第二砂防堰堤
（砂防堰堤）



問合せ：富士川砂防事務所　調査課　TEL：055－252－7156

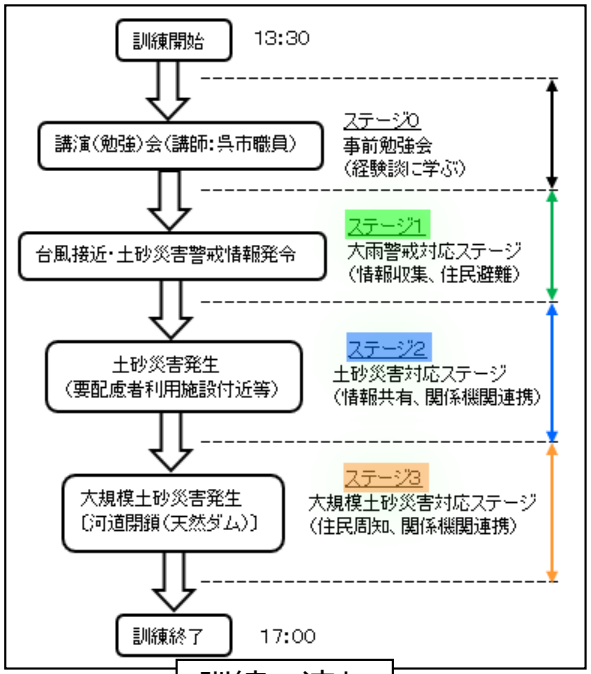
関係機関が連携した水防訓練の実施

富士川
砂防事務所

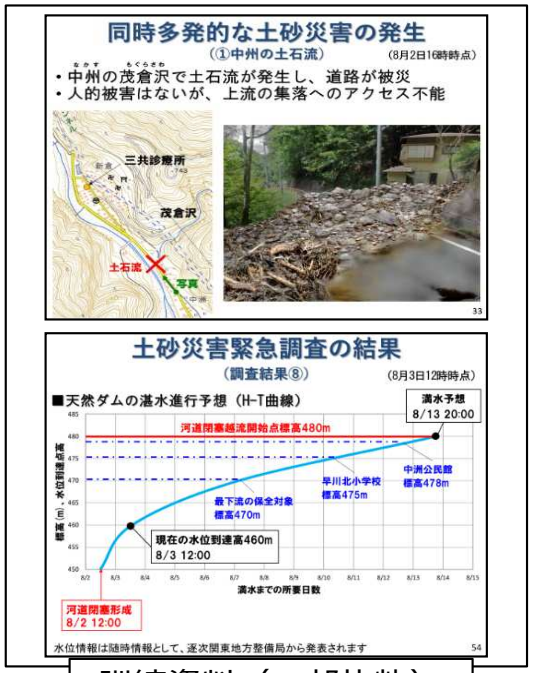
「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」の実施について

- 目的：大規模土砂災害（河道閉塞）の発生時に、関係機関と円滑な連携や各機関の防災力向上
- 実施日：令和5年11月6日（月）
- 参加機関：・早川町
  ・山梨県（砂防課）
  ・甲府地方気象台
- 実施場所：早川町役場
- 参加者数：34名
- 実施内容：下記のとおり

- **取組による効果、ポイント**
  - ・広島県呉市職員を招き、平成30年広島豪雨災害の自治体としての対応を訓練前に事前勉強会として実施。
  - ・訓練は対面形式で、ある事象に対して対応方法を参加者が自由に意見を出し合う意見交換型訓練方式で実施。
  - ・各機関の状況に応じた動きや、被災状況の共有方法、支援内容及び課題などを確認できた。



訓練の流れ



訓練資料（一部抜粋）

訓練実施状況→
（会場全体）

←事前勉強会
（広島県呉市
職員の講演）

訓練状況

問合せ：富士川砂防事務所　調査課　TEL：055－252－7156

住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進

甲府河川国道事務所

- 目的：住民一人ひとりのマイ・タイムラインを基本的な情報を入力するだけで作成できるツール（マイ・タイムライン作成支援ツール）を開発し、運用に向けより良いツールとするためにアンケート・ヒアリングを実施した。
- 実施期間：令和5年4月～
- 実施内容：
  - 富士川流域自治体へ昨年度作成した「富士川水系　マイ・タイムライン作成支援ツール意見照会用」を交付し、アンケートを収集。さらには、代表自治体・住民へ、ヒアリングを実施した。
  - アンケートとヒアリングを元に改良を行い、改良したツールに対して山梨市一町田中地区の住民にヒアリングを行った。

- 取組による効果、ポイント
  - 職員や利用者の意見を多く聞くことで、より利用しやすいツールへと改善できた。

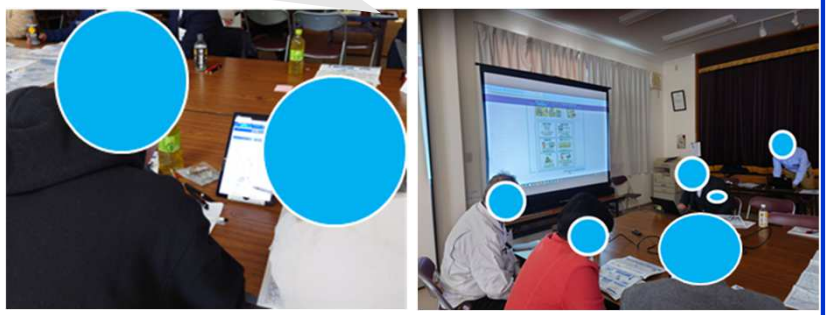
▲山梨市でのヒアリングの様子

▼ヒアリング実施日

山梨市	笛吹市	上栗原地区自主防災会長	一町田中地区
11/14	11/22	11/22	2/26

簡単な質問に答えるだけで、浸水リスクが確認でき、マイタイムが作成できた！

▲富士川水系　マイ・タイムライン作成支援ツールの改良について（一部）



▲山梨市一町田中地区に住民に実際にツールを使ってもらっている様子

問合せ：甲府河川国道事務所　流域治水課　TEL：055-252-8884